

GOOD FELLOWS

Japan Tour 2018

fea, Eric Alexander (T, sax)

Vincent Herring (A, sax)

Yoichi Kobayashi (Ds) Takahiro Izumikawa (Piano) Kengo Nakamura (Bass)



2018年 7月6日 (金)

開場 18:00 開演 19:00

ミルキーウェイブ

■お食事もお出来ますので、早めにご来場ください。

〒350-0051 川越市志多町 17-2

049-222-1101

live@milkywave.net

<http://www.milkywave.net>

前売 ¥6,000 当日 ¥6,500 学生 ¥5,500 (いずれも1ドリンク付・税込みの金額です)

Good Fellows feat, Vincent Herring and Eric Alexander

Japan tour 2018 7.6@milkywave

Vincent Herring (Alto Sax) ビンセント ヘリング

ケンタッキー出身。82年NYに移り小林とストリートミュージシャンを経験。その後Nat Adderley, Art Blakey,&JM, Harace Silver, Jack DeJohnnet, Cedar Walton, Freddie Hubbard, Louis Hayes 等のバンドで活躍。小林のグッドフェローズシリーズ等にも参加。8度の小林とのジャパントアールを行って。キャンボールを彷彿させながらもコルトレーン他モダンな感覚も追求している。自己のバンド”アースジャズ”や多くのバンドに席を置き世界中を飛び回っている売れっ子アルトサクソプレーヤー。日本にも多くのファンを持つ。

<http://www.vincentherring.com>

Eric Alexander (Tenor Sax) エリック アレキサンダー

インディアナ出身。1988年にニュージャージーの大学に入学。91年のモンクコンペティションでジョシュアレッドマンに続く2位に入る。それ以来プロとしての頭角を表し、STEVE DAVIS, JOE FARNSWORTH, PETER WASHINGTON, HAROLD MABERN AND DAVE HAZELTINE.等と共演。日本ではビーナスレコードと契約し多くのアルバムがメジャーヒットを出し、サイドメンでも60~70枚はCDに参加している。日本には毎年来日、ツアーを行って。今やテナー界のカリスマ敵存で最も売れているテナーサクソ。

<http://www.ericalexanderjazz.com>

小林陽一 (Ds) こばやし よういち

”53年秋田市生まれ。”76年尚美音楽院卒。92年NYから帰国と共に「GOOD FELLAS」を発表。SJ誌ゴールドディスクを獲得。 ”日本ジャズ維新”のリーダーの一人として貢献する。 ”98年NYバードランドでのライブレコーディング。”2000年アートプレイキー、レガシーコンサートに出演。 ”ジャパニーズジャズメッセンジャーズ”という名前でプログラムで紹介され、コンサートのトリを務め話題を呼んだ。01年度SJ誌人気投票コンボ部門5位。08年ドラマー部門3位に入る。04年にはロンカーターを迎えCD[Monks Trio]を発表、ツアーも行った。06年CD「Culture Shock」(M&I)をクインテット結成30周年記念で発表。08年「Happy Dance」、2010年CD「チュニジアの夜」を発表。2011年CD「モンクストリオ／ジャズに恋して」6月発売。2012年にはCD通算23枚目になる「KIZUNA」(日米混合グッドフェローズ)を発表。エリックアレキサンダーTs,ビンセントヘリングAsを迎えジャパントアールも行った。2013年5月にはCD「I miss You」発売。2010年から現在まで Jazz Page Access Ranking ドラマー部門1位にランキング中。2014,1月NY,Smokeにてエリックアレキサンダー、ヴィンセントヘリング等とライブレコーディング。同年5月通算26枚目のCD「Live at Smoke」発売。更にこの年7,8月に全国26カ所のジャパントアールを同じメンバーで行う。2016年7,8月に全国28カ所のジャパントアール,10カ所の中国ツアーを同じメンバーで行う。2015年にはCD「NoNoNoNo」2017年に通産28枚目の「Thake The Yellow Train」を発売。41年目を迎えたクインテットはまさに日本のジャズメッセンジャーズに相応しい存在を目指して活動中。

泉川貴広 (P) いずみかわ たかひろ

1986年10月18日生まれ。北海道札幌市出身。ニューヨーク在住。FUJI ROCK FESTIVAL'11 に出演。2016年全曲作曲、アレンジ、制作を担当したショートムービーROCOGO NEURONではNYC INDIE FILM AWARDS BEST SCORE (ベストオリジナル音楽賞)で金賞を獲得。2017年アルトサクソプレーヤーVincent Herringのアルバムの全曲アレンジホーンセクション作成を担当。同アルバムでCyrus Chestnut,Russell Malone, Carl Allen,Yasushi Nakamura と共演。グラミー賞2回受賞のシンガーソングライターTimothy Bloomのレギュラーキーボーディスト。現在は教会でのゴスペル音楽を中心に、Jazz, Hip-hop を演奏する傍らオーケストラ、ビッグバンドアレンジやプロデューサーとして、独自の音楽スタイルを各ジャンルのアーティストに提供している。

中村健吾 (Bass) なかむら けんご

大阪市出身、1991年、バークリー音楽大学卒業後、ニューヨークへ移る。1997年、ウイントン・マルサリスが音楽監督を務めるリンカーンセンター・ジャズ・オーケストラに参加。マルサリス・カルテットのメンバーとして、クリントン前大統領主催のプレジデント・サミットで演奏する。1998年、サイラス・チェスナット・トリオに加入。2000年、渡辺貞夫カルテットツアーに参加。2001年、小曽根真プロデューサーのデビューアルバム「Divine」(Verve) を発表。グラミー賞にノミネートされたマルサリスのアルバム「Live at the House of Tribes」(Blue Note) では、クインテットのメンバーとしてライブレコーディングに参加。小曽根真率いるビックバンド「No Name Horses」のメンバー。2012年10月、7枚目のアルバム「Songs in My Life Time」(55 Records) をリリース。 <http://www.kengonakamura.com>